

# リウマチ・膠原病だより

東広島記念病院 リウマチ・膠原病センター

広島生活習慣病健診センター

医療法人(社団)ヤマナ会

東広島記念病院 広報誌

Vol. 2 No. 1

発行日 2009年 1月 21日

創刊日 2008年 4月 21日



## 理念

1. 私共は医道を尊び、規律を守り社会的責務にこたえます。
2. 私共は常に研鑽し信頼される病院を創ります。
3. 私共は安全な医療を提供出来る病院をめざします。

## 患者憲章

1. 尊厳を保つ医療を受ける権利を有します。
2. 納得出来る説明と情報を受ける権利を有します。
3. 十分な情報提供下で治療方針を選択する権利を有します。
4. 医療機関を自由に選択出来る権利を有します。

## 岩橋院長就任挨拶

この度、2009年1月1日付けで前院長山名征三の後任として東広島記念病院リウマチ膠原病センターの院長に就任致しました。非常に身が引き締まる思いと同時に、果たして私にこの重責が務まるものか非常に不安であるのも正直な気持ちです。

当院は1994年8月内科系リウマチ・膠原病に専門特化し、患者サイドに立った病院創りを合言葉に開院いたしました。開院以来受診者数は増加を続け現在では月間通院実患者数が3000人を超え、全国でも3指に入る患者数を有する施設に成長しました。私自身は1998年から非常勤、2004年から常勤医師として勤務し多くの患者様の診療にあたることにより医師として、また人間として成長する場をいただいたと実感しております。リウマチ膠原病の治療は生物学的製剤の登場により新しい扉が開き、寛解を目指すことが出来るようになりました。今後もの確な医療情報を提供し患者様から信頼される病院であるようなお一層努力してゆく所存です。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



院長 岩橋 充啓

## 今月のトピック

### 関節リウマチ治療に関連する肝臓病のお話し

関節リウマチは主に四肢の関節を侵す病気ですが、治療にあたっては薬の副作用や合併症への影響から肺、肝臓、腎臓など他臓器への細かい配慮がかかせません。そこで今回は関節リウマチの治療において肝臓に関する副作用や注意すべき合併症についてお話しいたします。



副院長 金 基哲  
日本肝臓学会専門医

## 1. 治療前に肝臓病のスクリーニング検査を！

関節リウマチ診断時には必ず血液検査で肝機能（GOT/AST, GPT/ALT,  $\gamma$  GTP, ALP など）を検査し肝疾患の合併がないか判断が必要です。また、慢性 B 型肝炎や慢性 C 型肝炎のスクリーニングも必要となります。この治療前のデータは今後肝機能異常が出現した時素早く診断、対応するための大切な基礎データとなります。

## 2. 薬剤性肝障害は誰にでも起こる可能性がある！

関節リウマチ治療中に生じる肝疾患の中で最もよく認め、誰にでも起こる可能性がある薬剤性肝障害についてお話しします。抗リウマチ薬・免疫抑制剤の中で特に薬剤性肝障害を生じる頻度の高い薬剤はメトトレキサート（商品名：リウマトレックス、メトレートなど）、レフロノミド（商品名：アラバ）、アザチオプリン（商品名：アザニン、イムラン）があります。これらの薬剤を内服時は必ず定期的な肝機能検査が必要です。特に投与開始時や増量時には月に 1、2 回検査する場合があります。基本的に肝障害が出現時には原因薬剤の投与を中止、以後使用しません。しかし、メトトレキサートやレフロノミドの場合は一時的な休薬や投与量の減量で対応できる場合があります。さらにメトトレキサートの場合は葉酸製剤（商品名：フォリアミン）の補給で改善する場合があります、軽度の肝障害は克服できることが多いのも確かです。

薬剤性肝障害は早期に発見し原因薬剤を中止すればその多くは自然に回復します。よって定期的な肝機能検査は関節リウマチ治療時には必須となります。また、すべての薬に肝障害を起こす可能性があるため、肝障害出現時には他院で内服している薬を含めすべての使用薬剤のチェックが必要です。まれに健康食品やサプリメントによる肝障害もありますので肝機能異常出現時には普段服用しているものすべてを主治医に報告しましょう。



## 3. 慢性 B 型肝炎・慢性 C 型肝炎(非活動性キャリアーを含める)合併時は肝臓専門医と連携し治療を！

慢性 B 型肝炎または慢性 C 型肝炎を合併している関節リウマチ患者は決して少なくありません。これらの治療については各薬剤別に安全性や肝炎への影響が報告されていますが、実際には個々の症例に対し関節リウマチと肝炎の状態を細かく評価し対応する必要があります。いくつか治療上の制約は生じますが肝臓専門医と連携すれば、肝臓に影響なく関節リウマチの治療を遂行することは十分可能です。ここでは当院での治療経験も踏まえてお話しいたします。

まず比較的対応が難しくない慢性 C 型肝炎合併時の対応についてお話しします。活動性のないキャリアーや肝障害の軽微の場合は治療薬に制限はありません。抗 TNF $\alpha$  製剤などの生物学的製剤の投与も可能と考えます。活動性の高い場合は肝庇護剤などを投与しながら治療にあたります。ただ肝機能異常が増悪した場合は慢性肝炎が増悪したのか薬剤性肝障害が新たに出現したのか鑑別が難しくなります。肝硬変まで進展している場合は肝障害のリスクの高いメトトレキサートやレフロノミドの投与や感染症のリスクの高い生物学的製剤の投与は避けるべきです。

B 型肝炎ウイルス感染者については特別な注意が必要です。生物学的製剤は基本的に投与を避けるべきです。肝炎のないヘルシーキャリアーで血中 B 型肝炎ウイルス量が低値の場合生物学的製剤以外の治療薬は投与可能な場合がほとんどですが、活動性のある慢性 B 型肝炎合併時には免疫抑制効果のある薬剤の投与は慎重であるべきです。ステロイドは少量使用時には問題ないことが多いですが、投与量が多い場合は B 型肝炎ウイルスの増殖に影響し肝炎の増悪を招くことがあります。注意が必要です。特殊なケースとして B 型肝炎ウイルスの再活性化のお話しをしてお

きます。これは近い将来日本でも関節リウマチの治療薬として認可される予定（悪性リンパ腫の治療薬としてはすでに認可）の抗 CD20 抗体製剤使用時に問題となる可能性があります。以前は B 型肝炎ウイルスに感染するも治癒したケースでは体内からウイルスは完全に排除されたと考えられていましたが、リンパ球や肝細胞などにウイルスが潜伏していることがわかってきました。このような人にこの治療を行うと体内でウイルスの再活性化が生じることがあり、これによる急性の肝障害を発症することがあります。劇症肝炎で死亡例（悪性リンパ腫のケース）の報告もあります。B 型肝炎ウイルスの潜伏感染者は通常のスクリーニング検査（HBs 抗原）ではわからないのが問題です。このように B 型肝炎ウイルス感染は関節リウマチの治療に制限を生じさせますが決してあきらめる必要はありません。現在慢性 B 型肝炎の治療に使用されている抗ウイルス剤（エンテカビルなど）を併用すれば肝炎に影響なく免疫抑制剤や生物学的製剤を使用できる可能性があります。いずれにせよ B 型肝炎ウイルス感染・関節リウマチ患者の治療は基本的に肝臓専門医と密接に連携できる環境で行うべきです。

#### 4. その他の肝疾患について

抗 TNF $\alpha$  製剤による自己免疫性肝炎や原発性胆汁性肝硬変の増悪例、抗 IL6 製剤による肝障害（脂肪肝？）など非常に頻度は少ないが注意の必要な疾患があります。

以上最近の関節リウマチ治療における合併肝疾患の問題点、その対応についてお話ししました。当院には肝臓専門医（日本肝臓学会専門医）が常勤しており、肝疾患合併関節リウマチ患者に対してこれまで経験したたくさんの関節リウマチ症例から得たノウハウをもとにきめ細かい治療を行っております。特に慢性 B 型・C 型肝炎合併関節リウマチ患者さんで治療法に苦渋するケースがあれば是非ご相談下さい。

## RA 患者様の日常生活の注意事項

RA の治療は、抗リウマチ薬とステロイド薬と消炎鎮痛薬を組み合わせて行います。抗リウマチ薬の中に MTX やアラバやプログラフと言った免疫抑制剤や生物学的製剤もふくまれます。患者様の日常生活の注意事項としては、まず“風邪をひかないようにする”ということです。うがい、手洗いの励行、風邪をひいている人や感染症の子どもとの接触は控えてください。また“風邪をひいたな”と思われた時は、免疫抑制剤を内服されている方は服用を一時中断して受診してください。生物学的製剤を使用されている方も同様です。必ず胸部 X-P を撮ってもらいましょう。インフルエンザの予防接種や肺炎球菌ワクチンの接種もすすめています。感染症をきっかけに、RA の活動性に影響があることも時折経験してきたことです。その他にも免疫抑制剤や生物学的製剤を使用しておられる方が、副鼻腔炎や中耳炎が増悪したり、虫歯の治療後に感染症を起こしたりする場合があります。決して RA の治療と関係がないことではありませんので、黄色鼻汁がでる、耳が聞こえにくい、また虫歯の治療をするといった時も、主治医や看護師にご相談ください。他には、関節の使いすぎに注意しましょう。病状が落ち着いていても使いすぎて負担になれば、関節は腫れたり痛んだりします。サプリメントも内服薬との飲み合わせがありますので、ご相談ください。



外来師長 久 典子

生物学的製剤を使用されている方で、レミケードとアクテムラ使用の方は、投与後数日の体調の変化に注意してください。エンブレル、ヒュミラ使用の方は、投与部位やその他の部位への皮疹に注意してください。患者様自身で“大丈夫だろう”と自己判断されずに、外来看護師が対応いたしますので、お問い合わせ、ご相談ください。

# 東広島記念病院リウマチ・膠原病センター 外来診療表

2009.1～

|                               |     | 月曜                   | 火曜                  | 水曜                   | 木曜   | 金曜                     | 土曜                  |
|-------------------------------|-----|----------------------|---------------------|----------------------|------|------------------------|---------------------|
| 午前<br>8:45～12:30<br><br>【予約制】 | 1診  | 山名征三                 | 金                   | 山名征三                 | 山名征三 | 山名征三                   | 金                   |
|                               | 2診  | 金                    | 佐々木                 | 岩橋                   | 岩橋   | 中村                     | 岩橋                  |
|                               | 3診  | 岩橋                   | 古林                  | 山名二郎                 | 佐々木  | 山名二郎                   | 中村                  |
|                               | 6診  | 中村                   | 角南/大本               | 古林                   | ...  | ...                    | 古林                  |
|                               | 7診  | ...                  | ...                 | ...                  | ...  | ...                    | 黒瀬(第4)              |
|                               | 治験  | 全医師                  | 全医師                 | 全医師                  | 全医師  | 全医師                    | 全医師                 |
|                               | 内視鏡 | 井上                   | 野間                  | 角南                   | 角南   | 金                      | 小林                  |
| 午後                            | 2診  | 14:30～18:00<br>古林/中村 | 14:30～18:00<br>山名二郎 | 14:30～18:00<br>岩橋/中村 | 休診   | 14:30～18:00<br>金(肝臓外来) | 14:00～17:00<br>山名二郎 |
|                               | 内視鏡 | ...                  | ...                 | ...                  | ...  | 山名二郎                   | ...                 |

■水曜日の午後は1・3週に限り、17:00～中村先生の診察となります。

■厳しい時代を生き抜くため職員間の共通認識にロータリーの四つのテストを取り入れています。

## 四つのテスト

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

## 周辺地図



謹賀新年



〒739-0002 東広島市西条町吉行 2214 番地  
 TEL (082)423-6661  
 FAX (082)423-7710  
 E-mail izika@hmh.or.jp  
 ホームページ <http://www.hmh.or.jp>  
 発行 広報委員会

### ◆編集後記

明けましておめでとうございます。新春のお喜び申し上げます。おかげ様で『リウマチ・膠原病だより』を発行する事ができました。何かのお役に立てれば幸いです。次回は4月の発行予定です。

広報委員会